

第 17 回「学びながらのウォーキング」大会

と き 平成 30 年 11 月 23 日（金・祝）

ところ 講演会：彦島公民館

ウォーキング：彦島（老の山公園・南公園付近）

〔報告：山口県医師国民健康保険組合常務理事 沖中 芳彦〕

今年も、11 月 23 日（金・祝）に山口県医師国保組合の保健事業「学びながらのウォーキング」大会を開催した。

昨年のウォーキングは秋吉台のコースであったが、今年は大関市彦島で開催した。平成 17 年（第 4 回）にも大関で開催したが、海峡メッセ大関での講演会後、海沿いを歩き、関門海峡地下にある人道トンネルを抜けて、門司港まで歩くというコースだった。多くの方がご存じの通り、現在、海岸線は華やかな施設が建ち並ぶ姿となっている。しかしながら、集団でのウォーキングでこれら施設を横切るには少々無理があるかと感じ、今回は海と山を同時に楽しめるコースとして彦島を選定した。

さて、例年と同じく、山口市（総合保健会館）に集合する方々、及び大関に直接集合する方々のために、2 か所に集合場所を設置し、山口市集合者は大型バスで目的地に向かった。

大会開始にあたり、主催者挨拶後、大関市立歴史博物館の稲益あゆみ学芸員に「幕末の戦いと大関の人々」と題した講演をいただいた。今年、「明治維新 150 年」の節目の年となり、県内各地でイベントが開催されているが、本講演では、さまざまな事件の舞台となった大関の人々がどのような生活を送り、明治維新に貢献したのかを知るこ

とができた。

さて、講演会終了後、ウォーキング指導者として、健康運動指導員の経歴を持つ恵美須勝美さんから、ウォーキングの効用・注意事項の説明をいただき、一同、バスに乗りこみ老の山公園の南側駐車場に移動した。入念な準備体操を行って



ウォーキングスタート。公園頂上付近を廻り、少々短い距離で午前のウォーキングを終え、昼食となった。芝生に座り、船が行き交う響灘を見下ろしながらの食事は、清々しくもあるが、海からの風で少し肌寒くも感じられた。

食事を終え、公園の北側駐車場に向かい、午後のウォーキングをスタート。海を眺めながら丘を下る途中、煉瓦でできた趣のある風車が見えた。下った先の駐車場には遊具があるため、春から秋にかけて子供連れの利用者が多いと聞く。

バスに乗り込み、次は彦島の正反対側にある南公園に向かった。団地付近でバスから降りると、頭上には公園への矢印が大きく示された標識があった。しかし、その先は団地そのもの。参加者から、なぜ団地の中を歩いていくのか、不思議がる声が聞こえる。しばし歩くと団地の奥に大きな公園が現れた。意外とも思える場所なため、老の山公園よりは少々知名度は低いかもかもしれないが、春は桜が綺麗な名所で、地元の人々の散歩道にもなっているとのこと。それにしても、分かりづらい場所のため、初めて行かれる方はカーナビ等が必要かと思われる。

さて、公園に入ると、緩やかな上り坂を進んでいく。標高のとても低い山であり、歩道は整備されているため、ゆったり歩きやすい。頂上を過ぎ、下る途中で一旦小休憩となった。ここまでは樹木に囲まれていたが、いきなり真正面に大きく関門橋が現れたため、参加者から声が上がった。

関門橋を正面にししながら、少し急な坂を下ると、次は海縁を進んで行く。関門海峡が狭まっているからなのか、北九州市門司区が間近に感じられる。しばらく歩き、行き止まりにある巡礼霊場からの小高い丘を登ると、今度は眼下に巖流島が現れた。その後ろには関



門橋というロケーション。間近で巖流島を見渡せる場所は、他にはあまりないのではなかろうか。

ここでゆっくり景色を眺めながらの休憩後、来た細い道を10分ほど戻り、バスの待つ場所でウォーキングは終了した。

全員がバスに乗り込んだことを確認した後、山口市方面と彦島公民館にそれぞれ向かい、解散となった。

当日は、晴天とまではいかなかったが、ウォーキングにほどよい天候だったと思われ、また景観にも恵まれたため、参加者には十分楽しんでいただけたのではないかと思います。

